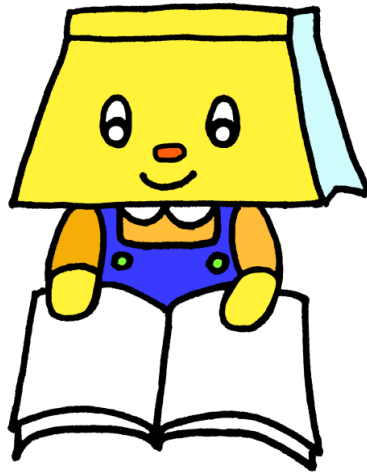


令和4年度(2022年度)実績報告

図書館年報



令和5年5月

大台町立図書館

目次

はじめに

1. 図書館の基本的なサービス・・・・・・・・・・・・・1

資料の公開・貸出・・・・・・・・・・・・・1

窓 口・・・・・・・・・・・・・5

館内サービス・・・・・・・・・・・・・7

Web サービス・・・・・・・・・・・・・8

2. 事業・活動報告・・・・・・・・・・・・・9

来館者事業・・・・・・・・・・・・・9

非来館者事業・・・・・・・・・・・・・24

移動図書館・・・・・・・・・・・・・27

広報活動・・・・・・・・・・・・・32

施設支援事業・・・・・・・・・・・・・35

その他・・・・・・・・・・・・・36

3. 状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

資料所蔵状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

利用者状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

年齢別地区別個人の実利用者数・・・・・・・・・・ 42

貸出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

公民館図書室利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

4. 経費・サービス指数・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

令和4年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

サービス指数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

5. 課題と対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

令和3年度の課題・対策と令和4年度の実施内容・・・・・・・・ 47

令和5年度に向けての課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

はじめに

図書館は自ら学ぶという姿勢を支え、生活の質を向上させることができる場所です。しかしながら、上手に図書館を活用するためには、図書館が提供しているサービスを把握している必要があります。この年報では、図書館サービスをより多くの方に知ってもらうために、基本的なサービスをまとめています。

1. 図書館の基本的なサービス

【資料の公開・貸出】

図書館は自ら作成した収集方針に従って資料選択および収集を行う機関です。その収集する媒体は、紙、音声、映像、電子書籍など様々です。どんな資料を集めるか、自由に手に取って見ることができるか（開架式）、館外への持ち出しができるか（貸出可）は、それぞれの運営する館によりルールは違います。当館では、今は主に紙媒体での資料収集を行い、開架、貸出可（一部禁帯出あり）というルールで運営しています。また選書は、リクエストやレファレンスを参考に町民のニーズに対応するとともに、今後必要とされる可能性が高い内容の資料も司書が検討し収集しています。

◆収集資料の種類

新聞 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、夕刊三重

雑誌 暮らしの手帖、すてきにハンドメイド、趣味の園芸、きょうの料理、きょうの健康、オレンジページ、Simple、歴史人、日経 PC21、AERA、週刊ベースボール、週刊新潮、SCREEN、子供の科学、婦人画報、Newton、non-no、クーヨン、NAGI、おくまの

図書 単行本、絵本、大型絵本、大活字本、ムック本、文庫本、紙芝居、郷土資料の小冊子・パンフレット・リーフレット

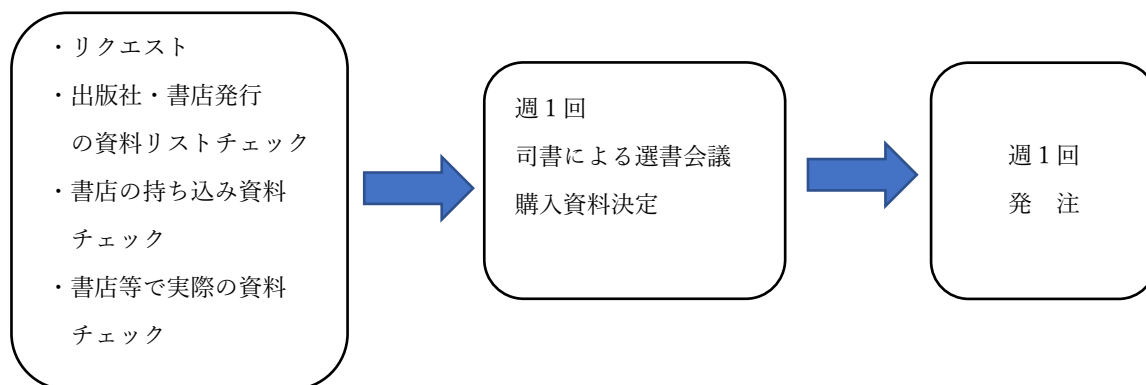
◆選書から排架まで（図書）

資料選びから棚に並ぶまでには、一定の時間がかかります。資料到着後も、司書による資料チェックを行います。新刊として発売されて間もない資料は、書店等での現物確認をする機会はほとんどなく、カタログやインターネットなどで確認できる情報にたよって選書しています。実際に目にするのは、選んだ資料が届いたときということがほとんどです。そのため選んだ資料が、どのようなレファレンスに対応できるか、この図書館では、司書が簡単に把握するための時間（1週間）を設けています。検索データだけでは対応しきれないレファレンス時に、このような日々の資料の目視が欠かせません。発行後かなりの時間が経過した資料については、必要であれば他の図書館から資料を借り受け、目視で内容を確認した上で購入決定する場合があります。

① 選書（第一段階 情報収集）

② 選書（第二段階 絞り込み）

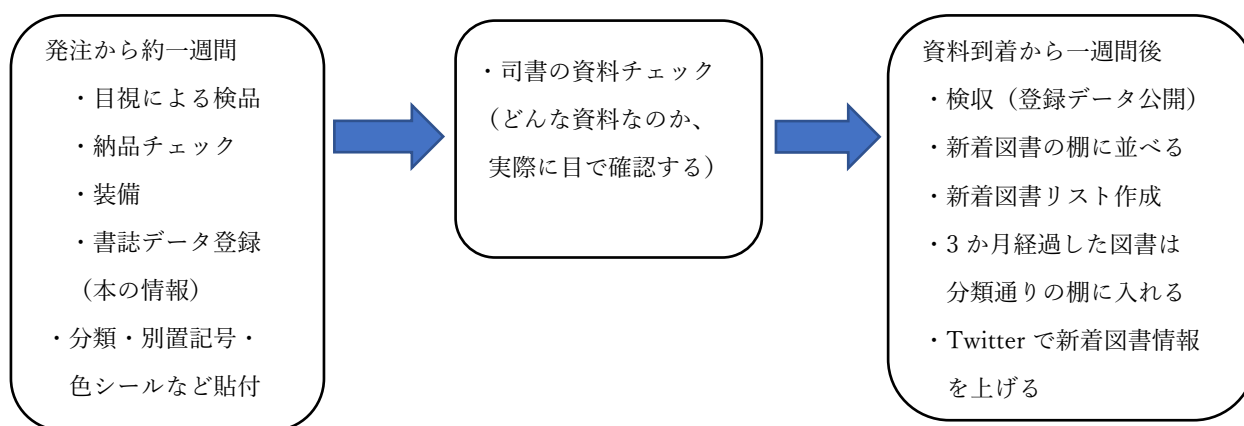
③ 発注



④ 資料が届く・データ登録

⑤ 資料チェック

⑥ 書架に並べる



雑誌は、受入処理が済み次第、速やかに棚に並べています。新聞は、受入処理はありません。最新号や最新刊の貸出や複写はできません。

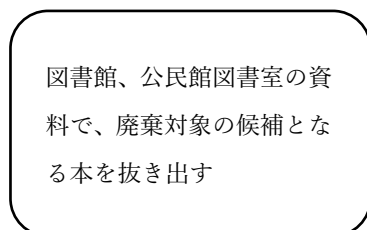
◆寄贈

「家を整理していて、もったいないので本を図書館に寄贈したいのですが」という問い合わせがよくあります。残念ですが、図書館の規模はすでに収納できる容量をはるかに超えており、毎年図書館で購入した資料を廃棄しつづけなくてはならない状態です。そのため、現在では、基本的には寄贈の受付はお断りしています。なお、未所蔵の郷土資料（大台町、周辺地域に関係のある資料）で、長期の保存に耐えうる資料であれば受入を行うこともあります。また、出版社や個人から新しい本の寄贈を受けることがあります。こちらについても、選書会議で司書が必要と判断した資料のみ受入します。

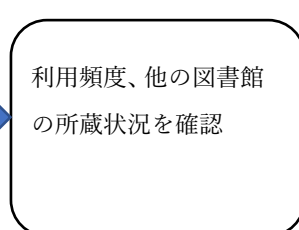
◆資料の抜き出しから廃棄まで

資料を収集し続ければ、どんな図書館でもいずれは書架が一杯になります。書庫がある場合は、ある一定時間が経過した資料はそこに収められます。しかしながら、この図書館には書庫はなく、他の図書館のように資料の保管機能を持つことはできません。そこで資料を廃棄するための基準を設けています。ただし、現在では廃棄対象年数を迎えても、資料的価値が高く利用が見込まれると判断したものは、図書館もしくは公民館図書室等に置いています。

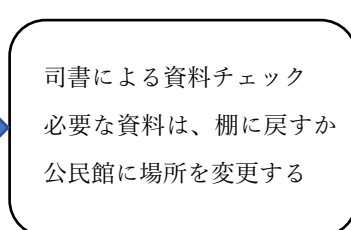
① 廃棄対象本抜き出し



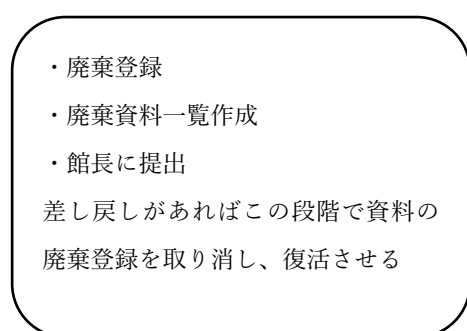
② データ確認



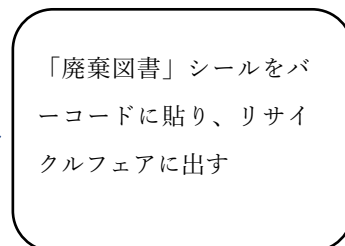
③ 司書チェック



④ 廃棄決定



⑤ リサイクルフェアで廃棄資料公開



●廃棄対象（図書資料）●

- ・受入よりおおむね8年以上経過したもの
- ・汚れ・破損が著しいもの
- ・時代的役割を終えたもの
- ・新しく版が出版されたもの
- ・百科事典で10年以上経過したもの
- ・法・税の説明で5年以前のもの
- ・スポーツ等でルールが変わったもの
- ・類似本が出版されて、資料的価値がなくなったもの
- ・館長が不要と認めたもの

雑誌は2年、新聞は3か月を保管期間としています。現在は、保管期間終了後、利用頻度の高い雑誌のみ2年間公民館で利用できるようにしています。

【窓口】

◆図書利用者カードの発行

資料の貸出を希望する場合に利用者の登録を行い、「図書利用者カード」を発行しています。利用対象者は、大台町に在住・在勤・在学の方、大紀町在住の方、その他館長が認めた方となっています。年齢制限、利用期限ともにありません。

◆Web用ログインパスワードの発行

希望者にはWebログイン用のパスワードを発行しています。

◆貸出返却の受付（貸出規則等については年報裏面に記載）

貸出と返却の受付をしています。

◆予約の受付

利用したい資料が貸出中の場合、予約をすることができ、窓口で受付をしています。

◆リクエストの受付

図書館の蔵書にない資料は、購入依頼（リクエスト）を行うことができます。

◆相互貸借の受付

図書館の蔵書にない資料は、相互貸借を行っている県内・愛知県・岐阜県・富山県の図書館であれば無料で資料を借りることができます。

予約・リクエスト・相互貸借申込書は同じ用紙ですが、一冊につき一枚ずつ記入が必要です。

予約・リクエスト・相互貸借 申込書

◆レファレンス

資料についての相談を受付けています。

- ・大台町立図書館の所蔵、場所確認
- ・他の図書館所蔵確認
- ・調べもの相談（知りたい事柄を何で調べたらよいかの相談）

レファレンスと一言でいってもその難易度は様々です。所蔵確認というすぐに回答できるものから、知りたい内容を詳しく聞く必要があるもの、調査に時間がかかるものなどもあります。回答方法は、資料の提供のみにとどまらず、インターネットも活用し、集めうる情報を収集します。

◆資料の複写受付

著作権法で認められている範囲内で図書館資料の複写ができます。

受付は窓口で行い、1枚10円で職員が複写を行います。

◆館内設備利用受付

個別学習コーナー、多目的ルーム、検索用パソコンの利用申請を受付しています。

【館内サービス】

◆検索用パソコン

1階には、インターネットが使えるパソコンが1台あります。検索の補助として、誰でも利用できますが、個人の文書やデータ作成、メール送信等には利用できません。

◆館内蔵書検索機（OPAC）

館内にある蔵書を検索することができます。2022年3月からは、検索した資料のデータをレシートで印刷することができるようになりました。さらにログインボタンを追加し、利用者個人のページをこの検索機から見るできるようになりました。

◆貸出資料のシール印刷

館内蔵書検索機でログインすると貸出中の資料を1冊ずつシールにすることができます。読書手帳等に添付し、個人の貸出記録や読書記録をつけることができます。

◆個別学習コーナー

個人で使う学習専用スペースです。席の指定番号があり、使用前に窓口で利用申請をしてから誰でも使うことができます。今年度はデスクライトを増設しました。



個別学習コーナーの様子

◆多目的ルーム

行事が開催される部屋です。行事がない場合は、次の用途で事前に利用申請すると使うことができます。

学習グループ利用 1～数人の少人数での利用

貸切利用 利用条件を満たした団体（自主グループ、非営利団体など）の講座や講習会、5名以上で利用の学習会や会議

ギャラリー使用 貸切にせず、壁面での展示

ランチタイム 12:00～13:00のみ食事可

◆Wi-Fi

館内でWi-Fiが利用でき、持ち込みのインターネット通信機器が使えます。

【Web サービス】

大台町立図書館には、インターネット上で図書館情報を確認できるホームページがあります。また、Twitter でも図書館の日々の情報を発信しています。

◆ホームページ

開館日、行事予定、図書館からのお知らせなどが確認できます。

また、ダウンロード用の読書手帳のデータもあります。

Twitter にログインすることなく、Twitter に挙げた情報も観ることができます。

◆蔵書検索 (OPAC)

図書館に所蔵している資料の検索を行うことができます。

◆ログイン後にできること

- ・利用状況参照

返却予定日などが確認できます。期限延長も1回限り行うことができます。

- ・予約

本を10冊まで予約することができます。

- ・新着案内配信サービス

ご自身の興味、関心があるテーマを登録すると、登録されたテーマに関する新着資料があった場合、新着情報がメールで配信される設定にすることができます。

- ・ユーザ設定

パスワードの変更やメールアドレスの登録を行うことができます。メールアドレスを登録すると、予約した資料の確認や取り置きのお知らせ、新着案内サービスのお知らせがメールで受け取れます。

◆Twitter

天候などによる急な臨時休館のお知らせや、個別学習コーナーや多目的ルームの利用状況など、いち早く伝達が必要な情報を発信しています。他にも、おすすめ本の紹介や図書館の日々の出来事も紹介しています。

大台町立図書館ホームページ

<http://www.ma.mctv.ne.jp/~odai-to/>



大台町立図書館
公式ホームページ

大台町立図書館 Twitter

@odai_to810



大台町立図書館
Twitter

2. 事業・活動報告

【来館者事業】

本を貸し出すことだけが図書館の役割ではありません。自主的学習や体験のできる場所でもあります。読書をする楽しさを知ってもらえるような企画に取り組んでいます。

◆読書手帳

読書手帳とは、本の記録をつけるための手帳です。読んだ感想を残すことで、読書習慣に繋がりがやすく、読書したという達成感を感じることができます。

また図書館では個人情報の保護という観点から、返却した本の記録は残さない仕組みとなっています。読書手帳を使うことで、自身で借りた本の記録として残すことができます。

2022年2月に図書館のシステムを更新しました。これを機に、館内に設置されている館内蔵書検索機（OPAC）から、利用者がログインを行うと貸出中の本の題名等をシールとして印刷できる機能を追加しました。このサービスの周知と普及を兼ねて、オリジナル読書手帳を求めに応じて配布しています。シールを貼る以外にも、直接手書きで記録ができる仕様になっており、ホームページからデータをダウンロードするとご家庭でも作ることができます。現在老若男女問わず利用してもらっています。



窓口横の棚にあります。

◆大台町立図書館開館20周年記念事業

2022年度は開館20周年を迎えた節目の年度でした。これを図書館の存在アピールのよりよい機会ととらえ、年間を通して今まで以上に幅広い年代層にも図書館を利用してもらえる企画を考えました。

1. 年間を通して集められるスタンプラリーの実施（トートバッグと引き換え）
2. 記念講演会の実施
3. 幅広い年代層が参加できる行事の実施

これらの3点を意識し行事を開催しました。

●スタンプラリー

開催日時 2022年6月1日（水）～2023年3月31日

対 象 すべての来館者

内 容 本の貸出や、本の紹介原稿提出、各行事参加でスタンプを5個集めて記念品（トートバッグ）と引き換え

台紙配布 429枚（500枚用意）

引換人数 229枚（9月より引き換え開始）



記念品のトートバッグ

引き換え月	引換人数（人）
9月	22
10月	63
11月	44
12月	23
1月	20
2月	29
3月	15
3月追加分	13
合計	229

トートバッグは、とこわか国体で配布予定だった未使用記念品を利用しました。デザインとシルクスクリーンの原版作成は町内の事業所「yuj design Lab」様に依頼し、職員が印刷を行いました。

年間を通じて行った企画で、たくさんの方に参加していただきました。何回でも参加できるようにしたので、1度引き換えをしても、次は家族の分と何度も参加する方もたくさんいました。他にも、家族みんなでスタンプラリーに参加する方もおり、とても好評でした。

3月初旬に予定枚数が終了したため、あとスタンプを1個集めると引き換えできる方限定で、少し印刷のかすれがある訳ありのトートバッグを追加で用意しました。

●女性活躍トークセッション

図書館は本（読み物）を読む場所という考え方が根強いですが、何か疑問に感じていることへの解決策を探す、ビジネスなどに活用できる知識を得るなど、人生のヒントとなるような情報を見つけることができる場所でもあります。トークセッションは、図書館の資料とは違った形で情報を得られる場であると同時に、事業者と町民とがつながる交流の場にもなります。

タイトル	『大台町 de かがやく女性たち～伝えたいをカタチにする仕事～』
開催日時	2022年7月30日（土）14：00～16：00
ゲスト講師	瀬古愛弥さん（鳥獣屋兼浦谷オートキャンプ場） 宮代早希子さん（yujdesignLab） 井上みのりさん（奥伊勢フォレストピア内エステサロン Image）
参加人数	16名
対象	中学生以上
内容	3名の講話、司書とゲスト講師を交えたトークセッション、 司書のブックトーク、質問コーナーなど

町内で活躍する女性3名をゲスト講師としてお呼びし、事業を始めた動機や事業を始めてから感じた苦労、新しい発見などを講話いただきました。

当日の参加者は10代から70代までと幅広い年齢層となり、定員数を超える申込みとなりました。それぞれ全く違う職業の方々ではありますが、多くの縁を受けながら今に至る経緯や、自分の時間を大切にしながら仕事をされている姿は、参加者からの評判も良く「自分も起業をしてみたいと思っていたが、なかなか動けずにいた。お話を聞いて、周りの人に助けてもらいながらやってみてもいいんだと思えた。」などお声をいただきました。

また、今後もこのようなイベントを続けてほしいという意見もいただいております。若い世代へ影響を与えられるよう、継続していければと考えています。



トークセッションの様子



ブックトークの様子

●児童文学作家はやみねかおる先生講演会

町立図書館開館 20 周年記念行事の最後の締め括りとして、大紀町在住で児童書を中心に数々の本を書いている作家はやみねかおる先生の講演会を開催しました。また、講演会終了後にはサイン会も実施しました。

開催日時 2023 年 3 月 21 日 (火・祝) 〔講演〕 14:00～16:00 〔サイン会〕 16:00～17:30

場 所 健康ふれあい会館

対 象 者 小学校 4 年生以上～一般

申込方法 図書館受付・FAX・Web (Google フォームを使用)

参加状況 当選者 73 名のうち、当日参加者 69 名 (特別枠 3 名含)

講 師 はやみねかおる氏

演 題 「春の課外授業 教えて！はやみねかおる先生！」

はやみねかおる先生の神髄ともいえる「トリック」の醍醐味についてお話を伺いました。実際に小道具を使用してトリックを交えながら作家活動・執筆について (特にアイデアがどんなふうに浮かぶのかなど) 講演いただき、事前にいただいた質問と、当日参加者からの質問にも回答していただきました。

申込みについては先生が SNS で「最後の講演会」として取り上げていただいたこともあり、全国から約 250 名もの申込みがありました。

講演会場が館外だったことから、駐車場の誘導や講演会の進行、サイン会など慎重に検討を重ね、当日は大きな問題もなく円滑に進めることができました。

先生も「最後の講演会は地元で」という思いがあったようで、今回の講演会をとっても喜んでいただきました。参加者からも「とても楽しかった！」と声を掛けていただきました。



講演会当日の様子

◆定期行事

毎月定期的に開催している行事です。

●ばぶばぶおはなしかい

2022年度9月から開始したおはなし会です。毎月第4水曜日10:40～11:00の時間に、乳幼児（0歳～2歳児）とその保護者を対象として開催しました。

経験のない年齢層を対象としたおはなし会であるため、年間を通してどのようなプログラムで実施するかを先に決めておきました。ただ、0～2歳は月齢による差が大きいため、来場した対象年齢に合わせて変更ができるように読む本の予備を複数用意するなど、より丁寧な準備が必要でした。また、この発達段階では本を読むだけでなく、親子でのスキンシップが重要であるため、親子で一緒にできるうたあそびも本を読む前後に入れました。

開催日が子育て支援センターで行われているおはなし会と重なっていました。「変更した方が来やすいのではないか？」という指摘を初回までに頂きましたが、今年度分の予定を配布済みでしたので、このまま開催することにしました。また周知不足もあり、毎回同じ人のみ出席する状態でした。今後の課題として、子育て支援センターで開催している乳幼児健診でのチラシ配布、開催日の変更などを検討しています。

開催日	0歳	1歳	2歳	他	保護者	歌あそび	本
9/28	0	1	0	0	1	ちょちょち あわわ、他1 曲	「もこもここ」 「くつついた」 他2冊
10/26	0	3	0	0	3	ちょちょち あわわ、他1 曲	「もこもここ」 「おぼけのぼ あ」他3冊
12/28	新型コロナウイルスの影響により開催見合わせ						
2/22	0	2	0	0	2	ちょちょち あわわ、他1 曲	「もこもここ」 「いぬがいつ ぱい」他2冊
3/22	0	2	0	0	2	うまはととし し、他1曲	「ごぶごぶご ぼごぼ」「ばか ばか」他2冊
計(人)	0	8	0	0	8		



開催の様子



リサイクルフェアのため
多目的ルームが使用できず
1階にて開催した様子

●ぴよぴよおはなし会

毎月第3木曜日に司書が行う読み聞かせの会です。毎月テーマを決め、読み聞かせや遊びを行います。未就学児を主な対象としていますが、特に年齢制限をしていませんので、未就園児や小学生も参加しています。

今年度は、コロナ禍で制限が緩和される中、初めて来たという参加者が多かったです。また読み聞かせの後に行う折り紙などの遊びを喜んでいる子どももいる様子でした。

12月のおはなし会では、インターンシップとして図書館に携わっていた高校生も参加し、子どもたちと楽しく過ごしていました。新規参加者が継続して参加してくれるようになり、常連の中にはほぼ1年間通して参加してくれた子もいました。



おはなしを聞く様子



12月 クリスマスリースづくりの様子

開催日時			テーマ	読んだ本	あそび	参加人数		
月	第3木曜日	時間				子ども	保護者	計(人)
4月	21日	16:15~17:00	花	『ふうとはなとうし』他2冊	折り紙(こいのぼり)	6	4	10
5月	19日	16:15~17:00	生き物	『からだがかゆい』他3冊	折り紙(ゾウ)	6	4	10
6月	16日	16:15~17:00	雨	『まてまてももんちゃん』他3冊	折り紙(カエル)	6	4	10
7月	21日	16:15~17:00	夏	『ひとつひまわり』他3冊	折り紙(ソフトクリーム)	5	4	9
8月	18日	16:15~17:00	おばけ	『やつばけずきん』(紙芝居)他3冊	おばけじゃんけん	8	6	14
9月	15日	16:15~17:00	おじちゃん おばあちゃん	『すずめのうんどうぼうしつくります』他2冊	折り紙(きのこ)	6	4	10
10月	20日	16:15~17:00	ハロウィン	『まじよとねこどんぼうきでゆくよ』他1冊	ハロウィンビンゴ	10	7	17
11月	17日	16:15~17:00	秋	『やまのバス』他3冊	折り紙(さる)	6	4	10
12月	15日	16:15~17:00	クリスマス	『さんになサンタ』(大型絵本)他2冊	折り紙(サンタ)、クリスマスリース	8	6	14
1月	19日	16:15~17:00	冬	『てぶくろ』(大型絵本)他3冊	折り紙(うさぎ)	4	2	6
2月	11日	16:15~17:00	建国記念日のため休館			0	0	0
3月	16日	16:15~17:00	春	『ふってきました』他5冊	折り紙(時計)	6	4	10
計	12回					71	49	120

●ぷらっと

気軽に集うことができる場や、新たな図書館での過ごし方を提供するため、普段から図書館を利用しない方でも「ぷらっと」気軽に立ち寄れる場所を作るために開始しました。毎月第2木曜日の14:00～15:30にテーマに沿った行事を行っています。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、事前申込制にて開催しました。

毎月、高齢の方の参加がほとんどですが、テーマによっては若い方にも来ていただき、幅広い行事を行うことができました。10月の読書会では、参加者それぞれに本について語っていただきました。想像していた以上に盛り上がり、紹介した本を借りてくれる方も多い会でした。



6月「SDGs」の様子



10月「読書会」の様子

開催日	テーマ	サブテーマ	内容	参加人数(人)
4月14日	図書館	蔵書検索を使いこなそう！	スマートフォンから WebOPAC で本の検索や予約の登録および読書手帳の配布	7
5月12日	健康	ストレッチをしよう！	理学療法士・上山哲明さんによるフレイルについての講話後、椅子に座ったままできるストレッチを行う	10
6月9日	SDGs	牛乳パックで小物入れを作ろう！	捨ててしまう牛乳パックを使って小物入れを作成および司書による本紹介	5
7月14日	暮らし	人生の終わりを考える	保健師・村田恵美さんによる終活についての講話および「もしバナゲーム」を行う	7
8月11日	休	休	休館日（山の日）のため休み	0
9月8日	室内ゲーム	図書館であそぼう！	カードゲームのUNOを行う	1
10月13日	読書会	お気に入りの本、教えてください！	思い出に残っている本や最近読んだ本などについて語り合う	5
11月10日	芸術	芸術の秋を体験しよう！	臨床美術士・田西隆好さんに臨床美術を教わり体験	6
12月8日	年末年始	ちぎり絵で年賀状を作ろう！	ちぎり絵で年賀状作成	6
1月12日	防犯	知って防ごう！特殊詐欺	大台警察署・古川さんにお越しいただき特殊詐欺についての講話	6
2月9日	健康	ダイエットに効果的な食事法とは？	管理栄養士・原田新吾さんによる講話および司書による本紹介	9
3月9日	認知症	楽しく予防をしよう！	保健師・村田恵美さんによる講話後、司書による折り紙でカレンダー作成を行う	8
計 11回				70

●おはなしプーさん 読み聞かせ会（この部分は代表小野清美様にお願いしました）

毎月第2土曜日 10:30～11:00 の30分間、ボランティアグループおはなしプーさんが読み聞かせ会を開催しています（定例会と呼んでいます）。

3人の当番が季節や行事のお話を中心に、その日訪れた子どもの年齢等を考慮して本を選んで読みます。7月・12月のイベント月には1時間に時間を拡大しています。絵本のほか紙芝居や大型絵本、手遊びやエプロンシアター等も取り入れます。プーさんから手作りのプログラムやプレゼントの配布もあります。

今年度も定例会は新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けました。しかし、昨年度よりは参加者も、迎える側の私たちも対策の方法が周知されたこともあり、ピリピリすることなく、和やかな雰囲気の中で読み聞かせ会を開催することができました。油断は禁物ではありますが、喜ばしいことです。

図書館の開館と共に発足したおはなしプーさんも20周年を迎えることができました。毎年毎年、ずっと同じことの繰り返しですが、生まれたばかりの赤ちゃんが、20歳になったのだ・・・と考えると感慨深いです。

参加者を呼び込むためには、目新しいことをしなければと焦った時期もありました。しかし今は、時代に流されることなく、「各会員が良いなと思える本を、子どもたちに紹介し一緒に楽しむ」この読み聞かせの基本を大事にしたいと考えています。

今後も、絵本そのものの力を信じて、会員一同、仲良く楽しく長く、活動していきたいです。



第2土曜日 定例会の様子

◆その他の行事

毎年取り組んでいる行事とその年度のみ開催する行事があります。

●リク★マツ

リク★マツとは、図書館の利用が少ない YA（ヤングアダルト）世代の図書館利用促進を目指して、この世代からのリクエストを募集する企画です。リクエストのあった本を選書会議で検討し、選書基準から外れないかぎり積極的に購入しています。この企画により、より親しみやすい YA コーナーづくりとその周知を行っています。

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指しています

募集期間 2022年6月17日（金）～7月31日（日）

応募方法 リク★マツ専用リクエスト用紙に記入し、応募箱に入れる

告知方法 図書館だより YA 版に掲載、ポスターを図書館と大台町内小中学校及び
昴学園高等学校へ配布

応募総数 14件

結 果 8タイトル9冊

『子どもたちは夜と遊ぶ』 上下巻 辻村深月//著 講談社

『リリーのすべて』 デイヴィッド・エバーショフ//著 齊藤博昭//訳 早川書房

『残像に口紅を 復刻版』 筒井康隆//著 中央公論新社

『恋に焦がれたブルー』 宇山佳佑//著 集英社

『海に願いを 風に祈りを そして君に誓いを』 汐見夏衛//著 スターツ出版

『明日の世界が君に優しくありますように』 汐見夏衛//著 スターツ出版

『小説 先輩と彼女』 南波あつこ//原作・イラスト 里見蘭//著 講談社

『おもしろい話、集めました。 E』 床丸迷人//作 大空なつき//作 深海ゆずは//作
田原答//作 ひのひまり//作 浜弓場双//絵 明菜//絵 加々見絵里//絵
渡辺ナベシ//絵 佐倉おりこ//絵 KADOKAWA



選ばれた本の一部

5回目の開催となる今年度は、一般書、YA 図書、児童書と、どの年代の本も均等にリクエストがありました。近年では YA 世代以外も YA コーナーを利用することが増えているので、その影響と推測します。より YA コーナーを充実させるべく、今後も利用者の意見を広く取り入れていきたいと思えます。

●子ども司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的として、小学生を対象に実際の図書館業務の模擬体験をしてもらいます。

開催日時 2022年8月19日(金) 9:45~15:00

2022年8月20日(土) 9:45~15:00

応募人数 各若干名

対 象 大台町・大紀町在住の小学4~6年生

参加人数 19日2名 20日3名(19日は事前キャンセルが他1名あり)

参加賞 修了書と図書館グッズ

内 容 図書館業務

(貸出・返却業務、返却図書の配架、本の紹介POPづくり、
レファレンス体験、本のコーティング体験)

※レファレンスとは、利用者の調べもの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。

2021年度に実施した子ども司書体験を、2022年度も実施しました。日時や大まかな流れは変わらず、レファレンス体験の問題のみすべて新しいものに変えての実施でしたが、図書館が好きな児童、図書館の仕事に興味がある児童が多く参加してくれました。中でもコーティング体験(本に透明なフィルムを貼り付ける体験)は2021年度に引き続き人気であり、ほとんどの児童がその体験を目当てに参加していることが分かりました。

どの体験内容も図書館業務としては大切なものですが、参加した児童それぞれに得手不得手があり、お互いの苦手を補い合うような様子も見られました。そういった助け合いは図書館のみならず、児童たちの今後に有益であり、仕事を体験するなかで社会の仕組みも学ぶという職業体験のような良い行事となりました。



返却された本を消毒する様子



本の紹介POPを作る様子

●おはなしと工作の会～びゅんびゅんごまをつくろう！～

開催日時 2022年10月29日（土）14:00～15:00

対 象 小学生

参加人数 5名（小学生3名 保育園児1名 保護者1名）

内 容 絵本『びゅんびゅんごまがまわったら』を読み聞かせしたあと、絵本にでてくるびゅんびゅんごまを作成。自分で作成したびゅんびゅんごまで参加する「びゅんびゅんごま回し大会」も同時開催。

小学生を対象に読書週間に関するイベントとして行いました。

読み聞かせを行った絵本が長めのおはなしだったため、低学年の参加者は読み聞かせの後半に少し飽きている様子を感じました。しかし、びゅんびゅんごまを作り始めると「絵本の校長先生は4つ回していた」などと絵本の内容のことを口にしていたので、しっかり聞いているようでした。

びゅんびゅんごまの回し方にはコツがいり、なかなか上手く回せずいましたが、練習するうちに回せるようになりました。そのため、最後に行った「びゅんびゅんごま回し大会」も無事開催できました。参加者の1人は家でも手にマメができるほど回していたそうです。



よみきかせの様子



びゅんびゅんごまの作成の様子

●司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的として、中高生を対象に実際の図書館業務の模擬体験をしてもらいます。

開催日時 2022年11月19日(土)9:45~15:00

応募人数 若干名

対 象 大台町・大紀町在住の中学1年生~高校3年生

参加人数 1名 (事前キャンセルが1名あり)

参加賞 修了書と木製しおり(図書館だより発行100号記念品と同じもの)

内 容 図書館業務

(貸出・返却業務、返却図書の配架、レファレンス体験、本のコーティング体験、本の修理体験、新刊受入体験)

※レファレンスとは、利用者の調べもの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。

小学生を対象に実施した子ども司書体験の内容を、中高生向けに変更して開催しました。レファレンス体験はより難しいものに変更しましたが、特に混乱もなくスムーズに実施することができました。また、本の修理体験、新刊の受入体験といった、より実務的なものに関しても意欲的に取り組む様子が見て取れました。普段見ることのない図書館の裏側を体験し、図書館への興味・関心が増した様子で、本来15時までの行事でしたが、本人の希望により延長し17時まで実施しました。

コロナ禍により中学校での職業体験等が実施できなくなり、実際の仕事に触れる機会が減った生徒たちに図書館での仕事を体験してもらおうねらいもありました。最後は満足した様子での帰宅となり、開催して良かったと思えました。



返却された本を棚へ戻す様子



本の修理体験の様子

●映画鑑賞会

新型コロナウイルス感染症が拡がり、出かける機会が社会的にも減っていました。図書館も様々な行事が中止や延期になり、映画であれば参加人数を制限して静かに鑑賞できるのではないかという考えのもと、2020年度から始まっています。

開催日時 2022年12月17日(土)

第1部 11:00~12:10 (幼児・児童対象)

第2部 14:00~15:30 (一般対象)

参加方法 事前参加申込制 定員各12名程度

第2部のDVDは三重県視聴覚ライブラリーより借受

対象	作品名	紹介した本	参加人数
第1部 【幼児・児童】	『ぼくは王さま』より 「ぞうのたまご」 「にせものの王さま」	・『王さまのえほん1 ぞうのたまごのたまごやき』 ・『王さまのえほん2 にせものばんざい』 ・『ぼくは王さま』 ・『ニセモノばんざい ともだちだいすき』	4組 10名 (1組欠席)
第2部 【一般】	『ポテチ』	・『フィッシュストーリー』 ・『マリアビートル』 ・『ゴールデンランバー』 ・『伊坂幸太郎 デビュー10年新たなる決意 総集編』	3名 (1名欠席)

上映する作品については、毎年三重県視聴覚ライブラリーの作品リストから選んでいましたが、そのほとんどがVHSであり、DVDの中でも内容や上映時間の条件に合うものが限られることから、今回第1部に使用する作品については視聴覚資料として購入しました。

今年度の幼児・児童対象の鑑賞会では立ち歩きや大きな声を出すといったことはなく、静かに鑑賞している様子でした。鑑賞会後に紹介した図書が貸出にも繋がりました。

一般については映画原作の著者を中心に図書を紹介し、参加者同士で作品を語り合う様子がありました。



第1部 上映中の様子



第2部 図書の紹介

●借りる！図書館福袋

袋に入れ、あえて本がわからない状態で貸出することで、利用者が普段選ばない本と出会う機会にしています。

期 間	2023年1月4日（水）～1月7日（土）17時＜なくなり次第終了＞
福袋準備数	幼児5セット、小学校低学年4セット、小学校高学年4セット YA（ヤングアダルト）2セット、一般5セット 計20セット
福袋仕様	中身が見えないように本を包装 借りたい人は、福袋に貼られている対象年齢とテーマを元にして選ぶ
リスト作成	後日福袋に入れたすべての本のリストを作成し館内掲示
スタンプラリー	20周年記念のスタンプは貸出と行事への参加をカウントし、2個スタンプがもらえる

一般の5セットは初日になくなりました。小学校高学年は初日に1セットも貸出利用がなく最終日まで残りました。一般の福袋を求めて来館されたが、貸出終了で借りられなかった方がいました。その方から、「シニア向けの福袋はないのか？」という声を頂きました。対象年齢の区分については、来年度はシニア向けを新設しても良いのではと思います。

普段、家族の送迎で来館するシニアの女性の方がスタンプを集めたいが、家族の手前、行事へ参加できずスタンプを貯めることができないとおっしゃっていました。年末、その方に、福袋の貸出は行事参加なのでスタンプを2つ押すことができると案内したところ、4日当日開館直後に来館されて、福袋を借りていかれました。



福袋を設置した様子

●リサイクルフェア

図書館での保管期間の過ぎた本・雑誌を無料でプレゼントする企画です。

開催期間 2023年2月17日（金）～3月6日（月）

持ち帰り冊数 一人10冊まで（3/1～冊数無制限）

リサイクルフェアの対象となる本

- ・廃棄対象となる本で2022年2月までに廃棄申請を提出した本・雑誌
- ・寄贈として送付されてきたが受入対象とならなかった本
- ・荻原公民館のデータ未登録本
- ・2021年度リサイクルフェアの残りの本・雑誌

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する制限が緩和されたため、整理券の事前配布は行わなかったです。ただし、初日から3日間は会場内へ一度に入場できる人数を10名までに制限しました。そのため、開館前などに15名以上並んだ場合は整理券を配布しました。

初日から3日間は職員を会場内に配置し入場制限を行っていたため、全員参加者名簿に記入してもらいましたが、4日目以降は参加者が自ら記入するので全員に記入してもらうことはできなかったです。参加者名簿も新型コロナウイルス感染症対策による町の規定もあったため、氏名・地区名・電話番号の記入をお願いしていました。しかし、4日目以降の来場者から「個人情報が見える状態で置いてある名簿に記入するのは抵抗がある」との声があったので、記入方法を変更しました。

【集計結果】

開催日数	来場者数	持ち帰り冊数
15日	274人（概数）	1,252冊（概数）



リサイクルフェア会場の様子

【非来館者事業】

直接来館をしなくても、図書館の本を利用できるよう事業を継続して行っています。

◆移動図書館の試験運行開始

9月～3月の間、試験運用として地域を限定し移動図書館を実施しました。詳細は次項の「移動図書館事業」をご覧ください。

◆お出かけブックン

図書館まで来館することなく、公民館窓口でも図書館の本が受け取れるように、定期的に司書が巡回しています。個人利用者から依頼のあった予約本の配送、返却本の回収、予約用紙の受け取りとともに、各施設に貸し出す団体貸出の本も配送しています。

巡回日 毎週水曜日午後

※実績数は、「非来館者の貸出方法の内訳」をご参照ください。

◆施設向け団体貸出

要望のあった町内の施設に司書が選んだ本を定期的に貸出しています。配送を希望する施設には、お出かけブックンで配送しています。

●町内保育園・小中学校向け団体貸出

保育園 選書 保育園セット 13セット（1セット 50冊）事前準備

入替 月1回

その他の要望対応 毎月20冊まで可 要望に応じて司書が選書

小学校 選書 各校毎月20冊（6～7クラス分）を選書

入替 年10回

その他の要望対応 「伝言板」としてリクエストを記入してもらう用紙あり
授業等やブックトーク等で必要な分は別で必要数を準備

中学校 選書 要望のあった学校・クラスに10～20冊を選書

入替 年10回

その他の要望対応 授業等やブックトーク等で必要数を準備
団体貸出に入れてほしい本のリクエストにも対応

●町内社会福祉施設向け団体貸出

2021年7月または8月より実施

利用施設数 2団体

利用冊数 計940冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
20冊～40冊程度を準備

入替 月1回

施設利用者の方に施設内で読書を楽しんでもらうために行っています。本の種類や内容については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。返却の際には、施設の職員を通じて読みたい本のリクエストを承るようになりました。

●報徳診療所向け団体貸出

2021年7月より実施

利用冊数 計180冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
毎月20冊を準備

団体貸出の利用に際し、受付前の待合スペースに書架を用意していただきました。貸出する本は、来院された方が気軽に読めるような昔話や、実用書、また昔を懐かしんでもらえるような本が中心です。昔の遊びを紹介した児童書を用意した時には、「もう一度読みたいが借りることができるか」と問い合わせのお電話がありました。また、通院される方からは「待っている間に読み終えるぐらいの長さの本を用意してほしい」という要望をいただくようになりました。

団体貸出を始めるにあたり「本の表紙が見える方が手に取ってもらえるから」と、絵本用の書架を用意して頂いていました。



設置して頂いた書架の様子

●公民館図書室向け団体貸出

より身近な場所で本を利用できるように、日進公民館と健康ふれあい会館の図書室には、各館置きの本があります。それに加えて、お出かけブックンの配送巡回時に毎月テーマ本を置き換え、さらに隔月で新刊本なども含めて170冊程度を入れ替えています。

◆ブックンぶんこ

学校図書室内で大台町立図書館所蔵の本を閲覧・貸出できるようにしました。

学校図書室の利用促進とともに、図書館を普段利用しない児童にも図書館の本を活用してもらう機会にしました。

2020年度に図書館に割り当てられたパワーアップ事業の図書予算から、このブックンぶんこのために選書して購入をしました。2022年度で2年目としてセットを入れ替えて継続して行っています。

選書は、授業に必要でも学校の図書費ではなかなか買えない本、子どもたちに読んでもらいたい本、子どもたちの間で人気のある本などを入れています。

人気のシリーズはよく借りられていました。

運用期間 2022年5月～2023年2月

貸出セット数 1セット 50冊×小学校4校

【貸出実績】

小学校名	貸出冊数	貸出の多かったシリーズ名・書名
日進	16冊	大長編ドラえもんシリーズ
川添	12冊	おさるのジョージシリーズ
三瀬谷	67冊	大長編ドラえもんシリーズ
宮川	15冊	大長編ドラえもんシリーズ



三瀬谷小学校図書室の
ブックンぶんこの様子
(写真は2021年度)

【移動図書館】

●移動図書館の試験運行開始

町立図書館は大台町のほぼ中心に設置されているものの、町の地域性ゆえに子どもや高齢者といった交通弱者が来館しにくい現状があります。実際に町民の方から「図書館に行きたいけれど車がなくて行けない」、「遠くて交通手段がない」等のお声をいただいています。今後も幅広い世代の方が図書館を利用していきたいと感じてもらえる環境を整えるため、その第一歩として、日進・川添地区の保育園児や送迎の保護者、近隣住民等を対象に、移動図書館の試験運行を開始しました。

運行期間 2022年9月7日（水）～2023年3月22日（水）

対象地区 日進地区／川添地区

対象者 日進／川添地区の保育園児と送迎保護者及び近隣住民

実施場所 日進地区…日進保育園横の広場／川添地区…川添小学校校庭内正門付近

運行日程 毎月各地区2回

返却方法 次の運営日（約2週間）、および図書館、公民館でも返却可能

試験運行として行うにあたり、安全面等を考慮し日進地区は日進保育園横の広場、川添地区は川添小学校校庭内をお借りしました。

蔵書数は一般書、児童書含め約300冊を準備しました。新規登録者については町立図書館で手続きをせずに済むよう事前に仮登録した図書利用者カードを持参し、現地で申請書を記入してもらい、職員が図書館に戻り仮登録の修正を行う形をとりました。

運行期間中の利用及び新規登録者が多くいたこと、また数値でも貸出者数と貸出冊数の平均値が図書館の同時刻よりも高い数値となったことから、図書館を利用したいができなかった現状が浮き彫りになったように思います。

日進地区は主に保育園児とその保護者、川添地区は保育園児の他、地域の方や小学校の先生からも利用がありました。

回数を重ねるにつれ、図書館だと手に取ってもらいにくい図書（生き物等の4類、紙芝居など）を借りていく様子や、ほしい図書のリクエストを多くいただけるようになりました。

ただ、雨天時の運行の解決策が十分に得られないまま、本年度が終了してしまったため、今後の運営については現状の場所で良いのか等、検討をしていく必要があります。



川添地区の様子



日進地区の様子

●移動図書館運行状況【実施期間9月～3月】

	開館 日数	来場者 数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	新規 登録者数	リクエスト・予 約・相互貸借 申込枚数	レファ レンス
9月	4	85	25	113	33	11	1	11
10月	4	93	34	234	200	4	4	16
11月	4	85	26	135	127	3	0	14
12月	4	70	31	146	118	1	3	11
1月	4	56	23	92	56	3	0	13
2月	4	79	32	129	104	1	0	15
3月	4	95	29	113	127	0	2	8
合計	28	563	200	962	765	23	10	88

(開館時間 15:30～16:30 1時間)

移動図書館1時間当たりの貸出平均人数・冊数 **7.14 人** **34.4 冊**

参考：図書館の同時間帯1時間あたりの貸出平均人数・冊数（9月～3月15:00～17:00の利用平均）

【図書館】	貸出総 人数	1,516 人/総時間	318 時間	貸出総 合計	5,403 冊/総時間	318 時間	4.8 人	17.0 冊
-------	-----------	-------------	--------	-----------	-------------	--------	--------------	---------------

●地区別利用状況

【日進地区】（日進保育園横空地）

◆利用者区別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
9月	1回目	14	1	0	0	11	26
	2回目	14	1	0	0	12	27
10月	3回目	15	4	0	0	11	30
	4回目	14	2	0	0	16	32
11月	5回目	14	3	0	0	13	30
	6回目	13	0	0	0	13	26
12月	7回目	16	0	0	0	12	28
	8回目	9	0	0	0	9	18
1月	9回目	6	0	0	0	6	12
	10回目	13	4	0	0	11	28
2月	11回目	14	1	0	0	10	25
	12回目	15	0	0	0	10	25
3月	13回目	16	0	0	0	9	25
	14回目	27	1	0	0	12	40
合計		200	17	0	0	155	372

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
9月	1回目	7	41	0	5.86
	2回目	10	45	25	4.50
10月	3回目	11	98	100	8.91
	4回目	12	85	70	7.08
11月	5回目	11	64	61	5.82
	6回目	9	48	49	5.33
12月	7回目	10	50	45	5.00
	8回目	7	44	42	6.29
1月	9回目	5	21	12	4.20
	10回目	11	47	25	4.27
2月	11回目	10	45	33	4.50
	12回目	9	39	31	4.33
3月	13回目	8	48	41	6.00
	14回目	8	24	53	3.00
合計		128	699	587	5.46

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
9月	1回目	6	86%
	2回目	3	30%
10月	3回目	2	18%
	4回目	0	0%
11月	5回目	0	0%
	6回目	1	11%
12月	7回目	1	10%
	8回目	0	0%
1月	9回目	1	20%
	10回目	2	18%
2月	11回目	1	10%
	12回目	0	0%
3月	13回目	0	0%
	14回目	0	0%
合計		17	13%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち新規利用者の割合

【川添地区】（川添小学校校庭）

◆利用者区別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
9月	1回目	8	4	0	0	8	20
	2回目	3	5	0	0	4	12
10月	3回目	7	7	0	0	8	22
	4回目	1	4	0	0	4	9
11月	5回目	2	1	1	0	6	10
	6回目	5	8	0	0	6	19
12月	7回目	6	2	0	0	7	15
	8回目	4	0	0	0	5	9
1月	9回目	3	2	0	0	4	9
	10回目	3	0	0	0	4	7
2月	11回目	8	0	0	0	7	15
	12回目	5	4	0	0	5	14
3月	13回目	5	5	0	0	7	17
	14回目	4	1	0	0	8	13
合計		64	43	1	0	83	191

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
9月	1回目	5	21	2	4.20
	2回目	3	6	6	2.00
10月	3回目	9	40	12	4.44
	4回目	2	11	18	5.50
11月	5回目	3	16	11	5.33
	6回目	3	7	6	2.33
12月	7回目	9	32	6	3.56
	8回目	5	20	25	4.00
1月	9回目	3	8	16	2.67
	10回目	4	16	3	4.00
2月	11回目	7	22	21	3.14
	12回目	6	23	19	3.83
3月	13回目	6	12	17	2.00
	14回目	7	29	16	4.14
合計		72	263	178	3.65

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
9月	1回目	2	67%
	2回目	0	0%
10月	3回目	1	11%
	4回目	1	20%
11月	5回目	2	67%
	6回目	0	0%
12月	7回目	0	0%
	8回目	0	0%
1月	9回目	0	0%
	10回目	0	0%
2月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
3月	13回目	0	0%
	14回目	0	0%
合計		6	8%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち新規利用者の割合

【他機関連携事業】

◆ブックスタート

ブックスタートは、0歳児検診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

大台町では町民福祉課が主催し、4～5ヶ月児が対象で、絵本をきっかけに親子で楽しい時間を過ごせるよう図書館司書から個別にアドバイスを行います。

主 催	町民福祉課
内 容	絵本をきっかけにして、親子で楽しい時間を過ごしてもらう 絵本を2冊プレゼント
対 象	4～5ヶ月児
依頼方法	ブックスタートの講師派遣依頼を受けて司書が出張する
場 所	子育て支援センター（大台町健康ふれあい会館内）
開催日時	「のびのび相談」開催時 一組10分程度
参加組数	28組

絵本をきっかけにした親子の時間について話をする際に、まず家庭での様子を伺い、兄弟姉妹との関係や主に保育をされる方の生活パターンに合わせて、絵本のある暮らしについて提案しています。すでにブックスタートを受けた子どもがいる保護者の場合は、その子どもたちの様子について伺うこともあります。プレゼントした絵本をボロボロになるまで何回も読んだという話を聞くこともあります。

【広報活動】

◆図書館だより

毎月図書館だよりを発行しています。開館予定、行事のお知らせ、イベントの様子などの図書館に関する情報と毎月のテーマコーナー本や新着本などの本紹介を行っています。図書館以外に、お出かけブックンの際、各公民館図書室や各施設に配布しています。



発行 毎月1日
通算 106号(2022年3月)
発行部数 約250部

◆図書館だより YA版

※YA(ヤングアダルト)とは、10代の若者を指します

読書離れが進んでいると言われている10代の図書館利用を促進し、読書推進につなげるために図書館だよりを2018年より発行しています。図書館の利用案内や活用法をはじめ、10代におすすめ本の紹介などを掲載しています。また、YA世代を対象としたリクエスト募集行事「リク★マツ」の募集やその結果発表、YA世代対象行事のおしらせなどにも活用しています。町立図書館で配布のほか、町内小中学校、昴学園高等学校図書室でも配布しています。



発行 年4回
発行総部数 約1050部
内訳 春 約280部
夏 約270部
秋 約250部
冬 約250部

◆ホームページ（【Web サービス】参照）

◆Twitter（【Web サービス】参照）

◆広報おודい

「広報おודい」に図書館のコーナーがあります。図書館が情報発信する媒体として各戸配布される唯一の存在です。行事のお知らせだけでなく、図書館を利用したことがない町民の方にも図書館とはどんなところか知ってもらおう場として活用しています。

◆行政チャンネル おーちゃん「図書館だより」

司会者とともに月替わりで司書が出演し、図書館のおすすめ本や行事、図書館の利用案内をしています。

◆行政チャンネル 文字放送

行政チャンネルの文字放送で休館や行事のお知らせをしています。

◆図書館入口ブラックボード

「図書館が暗く開館しているのかどうかわからない」という指摘があり、外から見て少しでも入りやすい雰囲気を作るためにブラックボードを使い始めました。本の紹介などを書くと、「外に書いてある本ある?」といった質問もされるようになりました。

◆ポスター・チラシ

行事や新しい事業のお知らせは、ポスターとチラシを基本としています。図書館だよりの配布時や各施設等にも掲示してもらっています。



それぞれの行事担当が作っています

◆回覧板

チラシやポスターの周知効果をより高めるために回覧板を活用し、インターネットなどで情報収集しない方や普段図書館を利用されない方への情報発信としています。

◆役場ロビーにブックトラック

町内には図書館の場所を知らない人もおり、図書館の認知度が低いことを日々実感します。そこで、町民の来庁が多い役場本庁 1 階ロビーに図書館宣伝コーナーを設けました。広く図書館の存在をアピールし、来館者の増加を目的としています。

ここでは、図書館からの各お知らせのリーフレットの他、図書館の本を置き、毎月入れ替えています。借りたい本があれば、利用者が図書館に持ってくることで貸出もしています。

配布物 図書館利用案内、おはなし会のチラシ、図書館だより、行事のチラシ

種類 一般書 10 冊 児童書 10 冊

入替日 毎月第 3 水曜日

毎月入れ替えに行くと、本が入れ替え時とは違う場所にあることや、面出しした本が変わっていることが多々あり、本を読んでもらっていることがよくわかりました。実際に本を読んでいる方に出会ったこともあり、図書館には様々な本があることを知ってもらうきっかけにもなっていると感じました。利用者が図書館に本を持ってきて貸出を行うこともあり、来館に繋がったこともありました。



キッズスペースの横にあります

【施設支援事業】

お出かけブックンの配送に留まらず、町内施設にある図書室の読書環境向上のために、支援を行っています。

◆町内小・中学校の図書室支援

司書が各学校図書室の支援を行っています。

訪問日数 小学校週1日半 中学校週1日

支援内容 カウンター業務（貸出・返却、レファレンス）

資料整備（選書、受入、廃棄、本の修理、館内清掃、書架整理）

読書推進（本紹介、テーマコーナー、図書だより作成、読書推進企画
ブックンぶんこ設置）

授業サポート（図書館資料提供、ブックトーク・読み聞かせ）

その他 教室への支援として団体貸出を実施

図書室年間報告等作成

週1回程度であるため支援には限界がありますが、各校にあった支援を続けています。図書委員会が行っている活動の支援や、司書独自で企画して本紹介や図書室クイズなども実施しています。それぞれの学校で取り組む内容は違いますが、どの学校も話しやすい人間関係、来やすい図書室づくりを意識して支援にあたっています。授業での読み聞かせやブックトークの団体を相手にする依頼も多いですが、個々の読書意欲、安心して過ごせる場所づくりが一番大切なことだと思っています。



宮川小学校 図書室前の本紹介コーナーの様子

【その他】

◆職業体験・インターンシップの受入

教育機関から職業体験やインターンシップの受け入れをしています。

今年度は、8月に大台中学校から教職員2～3年次研修(社会体験)で職員1名を2日間、12月に昂学園高等学校から2名を3日間受入しました。

教職員2～3年次研修は、一昨年度に打診を受けるも延期となっていたものです。今回、実施することができて良かったです。水曜日のお出かけブックンと、金曜日の新刊図書受け入れの体験を行いました。普段、学校図書館業務でお世話になっている先生に、図書館業務を知ってもらう良い機会となりました。

昂学園高等学校のインターンシップは、小学校のご理解・ご協力を得ることができたので、学校図書館業務を体験することができました。また、昂学園高等学校側の方針で、体験時間が例年より延長になりました。そのため、びよびよおはなし会で読み聞かせの体験を行うことができました。

昂学園高等学校インターンシップの様子



宮川小学校図書室での様子



日進小学校図書室での様子



受付業務の様子



びよびよおはなし会
大型絵本の読み聞かせの様子

◆図書館だより100号記念 木製しおり配布

図書館だよりの9月号が通算100号になることを記念して、木製しおりを製作しました。材料の木材は町内の製材所「武田製材」様から、革製のしおり紐はレザークラフトの講師・野呂茂雄様から、どちらも無償で提供していただきました。

しおりの加工は、町内の工房「WOODY. U」の浮田竜成様にお願ひしました。木材を薄く加工する作業はとても骨が折れたことと思います。

使用した木材は、クルミ・クリ・サクラ・ソヨゴ・ホウの5種類です。同じ種類の木でも、一枚一枚の木目が違って、滑らかな手触りが味わい深いです。しおり紐を穴に通す作業は、職員が行いました。

しおりは、9月号の図書館だよりとセットで先着100名にお渡ししました。皆さんには、とても喜んでいただき、良い記念になりました。



5種類の木材で作ったしおり

◆図書館設備・図書館システム

設備の不具合を減らしスムーズな図書館運営を行うための設備の定期的な更新や交換、利用者の要望に応えるための備品の要望をしています。

- ・学習室デスクライト 7台 購入

3台は設置しました。

残りの4台は、コンセントの位置が机から離れているため、未設置のままです。

館内で使用する電気製品の配線については、検討が必要です。

◆新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として次のとおり継続しています。

- ・館内設備、返却図書、貸出袋のアルコール消毒
- ・来館人数確認のための入館札入れは職員で行う
- ・行事の入場制限、混雑が予想される行事は予約制
- ・職員のマスク着用

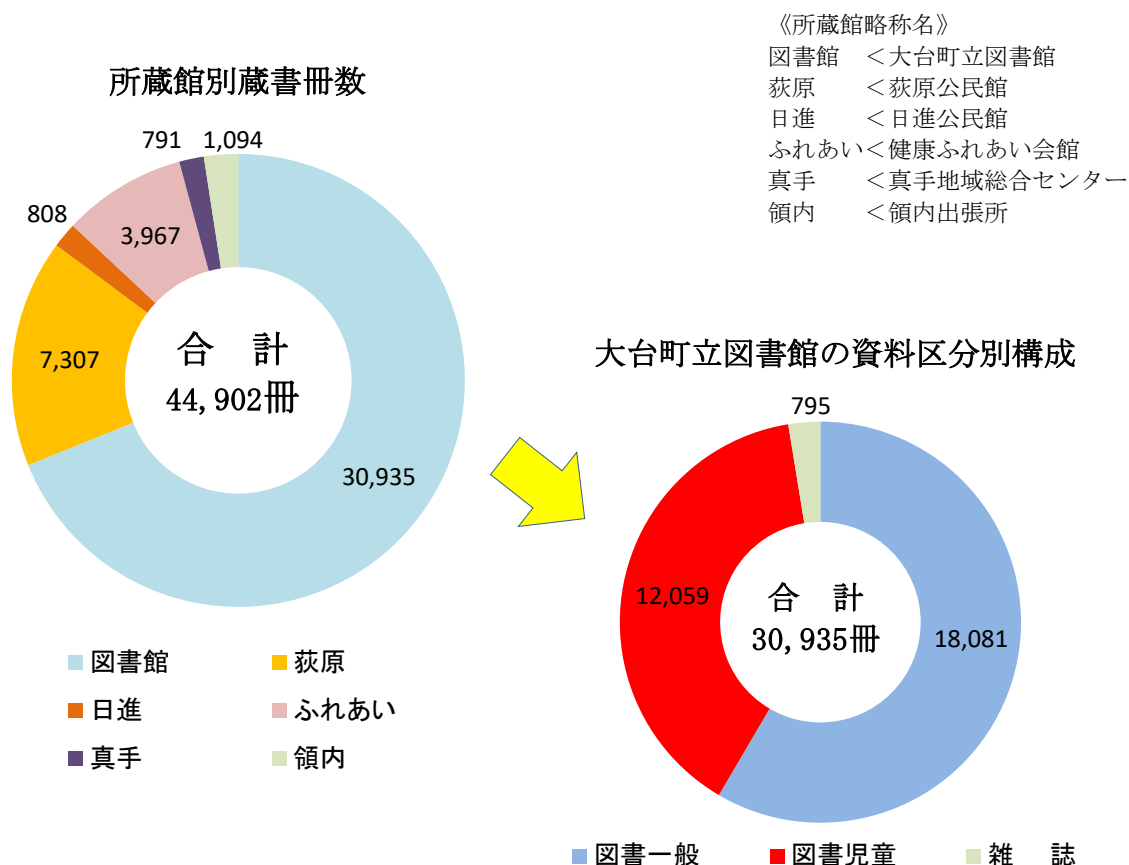
3. 状況報告

【資料所蔵状況】 (令和5年3月31日現在)

●所蔵館別の蔵書冊数

※各公民館にあるデータ未登録資料は含まず

	図書館	荻原	日進	ふれあい	真手	領内	合計
図書一般	18,081	4,569	409	2,754	408	137	26,358
図書児童	12,059	2,738	343	1,158	383	957	17,638
雑誌	795	0	56	55	0	0	906
合計(冊)	30,935	7,307	808	3,967	791	1,094	44,902



●資料の増減

※未登録資料は含まず

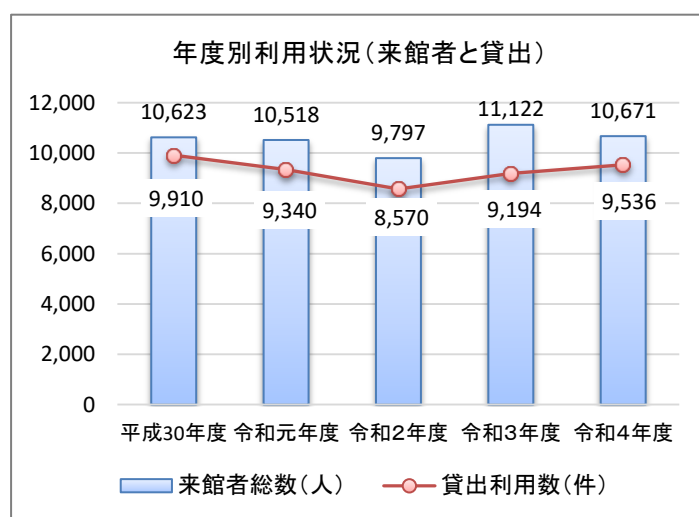
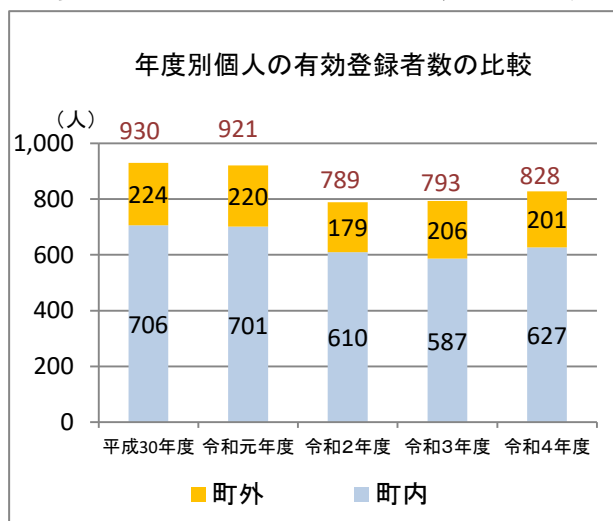
図書・雑誌	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
購入図書資料(冊)	1,750	1,560	2,741	2,027	1,190
購入雑誌資料(冊)	323	321	337	331	341
寄付・寄贈(冊)	121	70	28	13	47
除籍等(冊)	-1,095	-671	-1,399	-1,719	-1,528
変更分(冊)	19	-1	1	23	8
年度末蔵書数(冊)	41,182	42,461	44,169	44,844	44,902

【利用者状況】 (令和5年3月31日現在)

※有効登録者数は年度内に実際に登録または貸出利用した個人・団体のこと（登録のみを含む）

年 度			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
来館者総数(人)			10,623	10,518	9,797	11,122	10,671
登録者総数(件)			4,791	4,925	5,062	5,168	5,245
有効登録者数(件)			1,054	1,035	905	918	956
有効登録件数 内訳	個人	町内	706	701	610	587	627
		町外	224	220	179	206	201
		計(人)	930	921	789	793	828
	団体	町内施設・団体	81	74	76	87	87
		町外施設・団体					2
		相互貸借館	43	40	40	38	39
	計(件)	124	114	116	125	128	
実利用者数(件) (内は団体数)			1,041 (120)	1,005 (109)	877 (113)	892 (121)	937 (122)
貸出利用件数合計(件)			9,910	9,340	8,570	9,194	9,536
貸出利用件数 内訳	個人	のべ人数	8,210	7,695	7,052	7,575	8,101
	団体	のべ数	1,369	1,327	1,213	1,371	1,217
	相互貸借	のべ館数	331	318	305	248	218
2Fマルチフロア利用者合計(人)			1,328	1,209	1,405	2,021	2,132
2F マルチフロア 内訳	個別学習コーナー		674	548	470	911	792
	多目的ルーム			219	286	571	468
	ランチタイム			59	34	94	203
	行事参加者総数		620	345	597	419	665
	校外学習		34	38	18	26	4

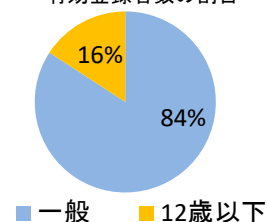
※多目的ルーム及びランチタイムの設置は令和元年から



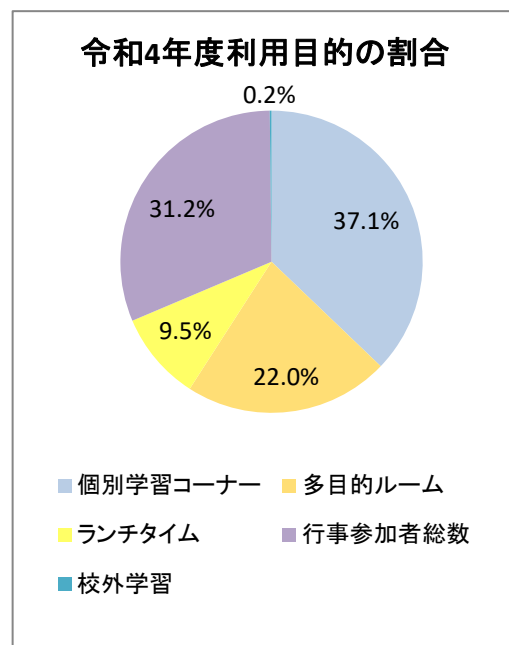
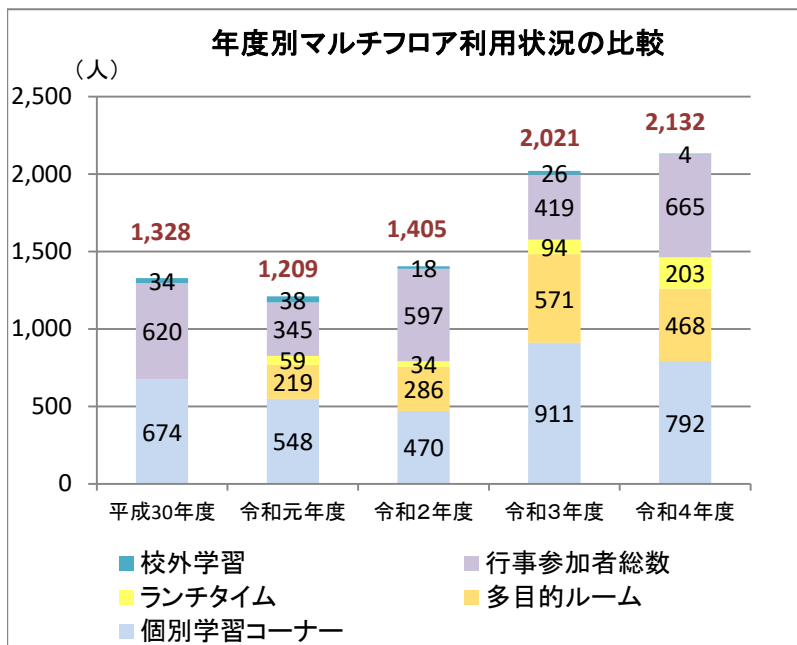
●個人利用対象者別有効登録者数

対象別有効登録者割合	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般	742	735	646	678	697
12歳以下	188	19	143	115	131
合計(人)	930	754	789	793	828

令和4年度対象者別有効登録者数の割合



●マルチフロア利用状況



※令和4年度3月行事の講演会は図書館外実施のため、ここには含まれない(69名参加)

●各種サービス利用状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相互貸借	借受冊数	478	512	611	543	572
	貸出冊数	371	374	374	279	252
複写(件)		35	35	33	37	32
レファレンス(件)		55	53	99	32	18

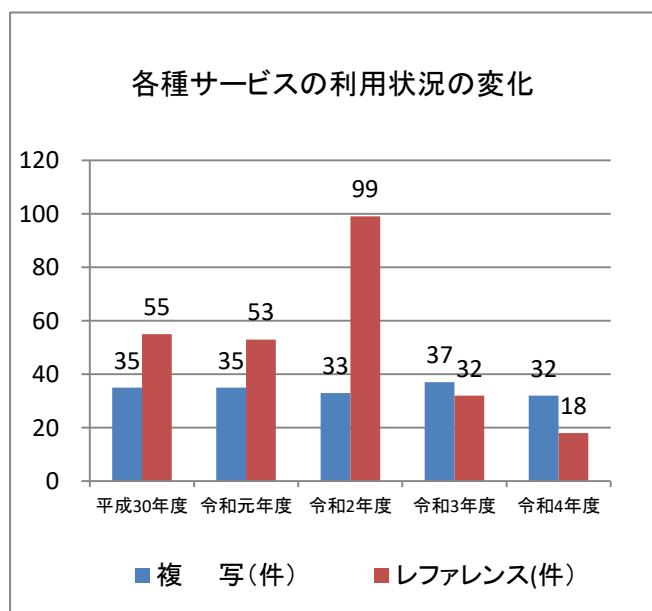
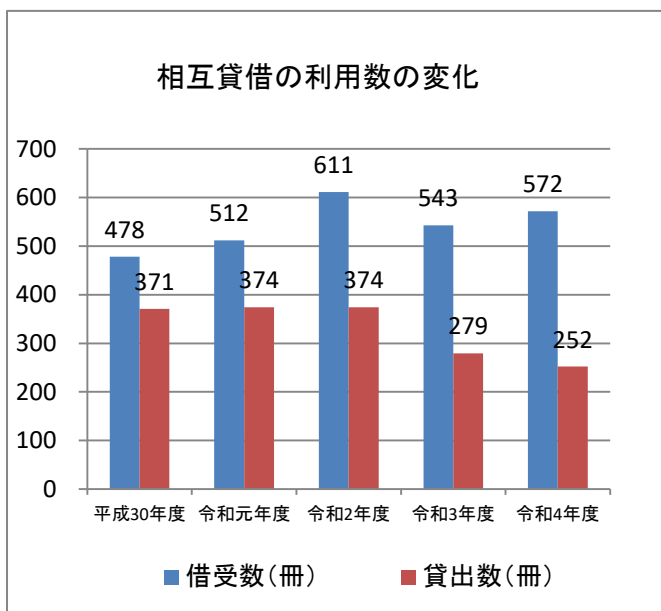
相互貸借とは、他の図書館と資料の貸し借りをを行うこと

相互貸借[借受冊数]は、他館より借りた資料数

相互貸借[貸出冊数]は、他館に貸出した資料数

複写は、図書館資料のコピー依頼件数

レファレンスは、司書への質問・相談件数(情報探索に時間が必要なもののみカウント)

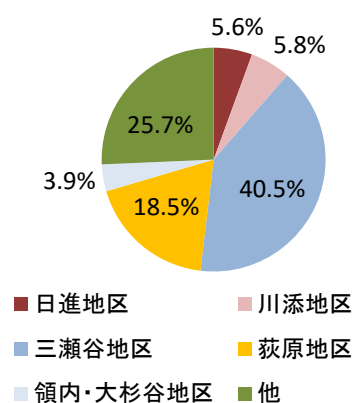


【年齢別地区別個人の実利用者数】

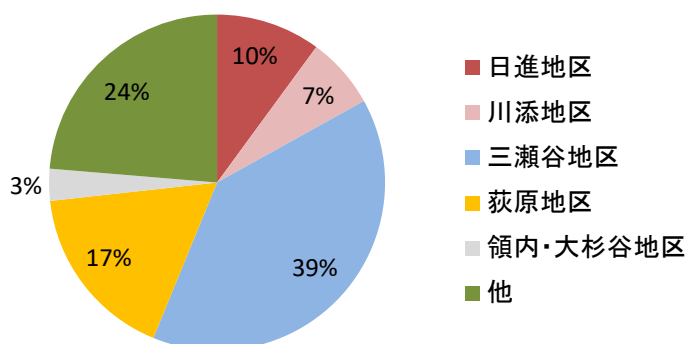
年度内に貸出をした個人の地区別人数（団体含めず）

	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計	地区別利用
日進地区	17	3	20	28	14	82	10%
川添地区	11	5	3	17	20	56	7%
三瀬谷地区	56	17	55	75	117	320	39%
荻原地区	25	16	15	32	51	139	17%
領内・大杉谷地区	4	0	4	6	11	25	3%
他	21	11	22	68	71	193	24%
合計	134	52	119	226	284	815	100%
年代別利用	16%	6%	15%	28%	35%	100%	

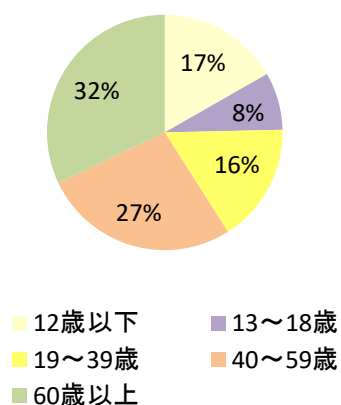
【参考】令和3年度地区別利用割合



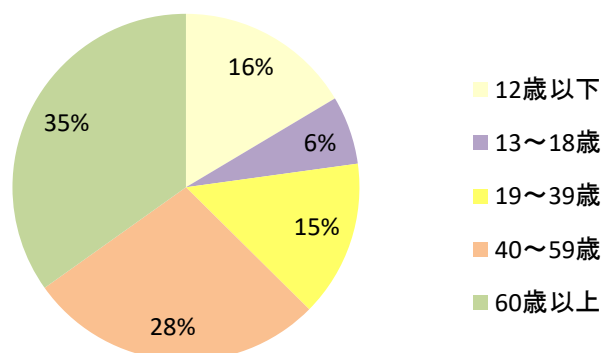
令和4年度地区別利用割合



【参考】令和3年度年代別利用割合



令和4年度年代別利用割合



【貸出状況】 (令和4年3月31日現在)

●貸出冊数

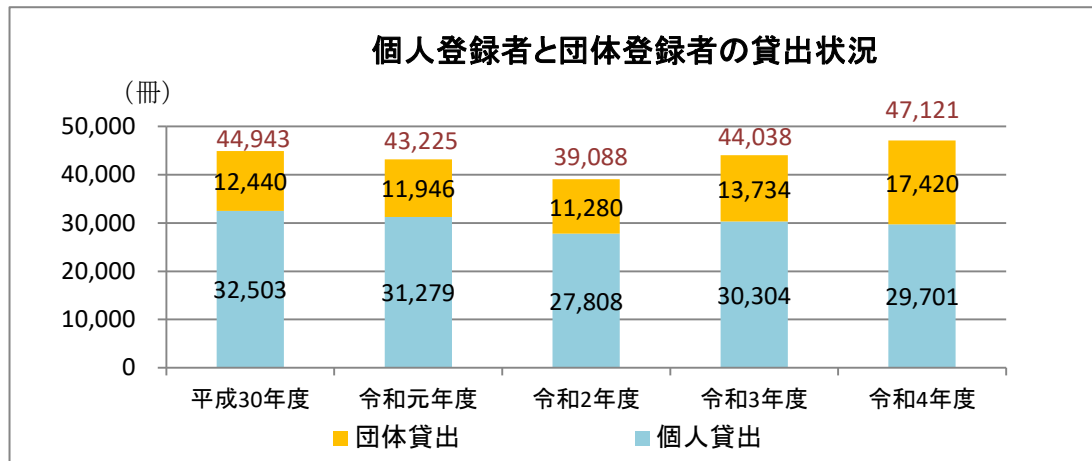
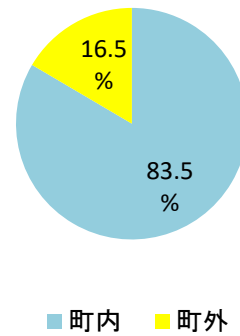
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人貸出	32,503	31,279	27,808	30,304	29,701
団体貸出	12,440	11,946	11,280	13,734	17,420
貸出合計(冊)	44,943	43,225	39,088	44,038	47,121

※ここでの団体貸出とは、団体登録者と相互貸借館への貸出を指す
 令和3年度までは貸出処理がされていない分の保育園セットの数を含めず
 令和4年度からは保育園セットが含まれる

●令和4年度の貸出冊数の内訳

	個人	団体	合計
町内	22,203	17,130	39,333
町外	7,498	290	7,788
合計	29,701	17,420	47,121
	個人	団体	全体
町内	47.1%	36.4%	83.5%
町外	15.9%	0.6%	16.5%

令和4年度町内・町外
貸出冊数の割合



●令和4年度の年齢別地区別の個人の貸出冊数

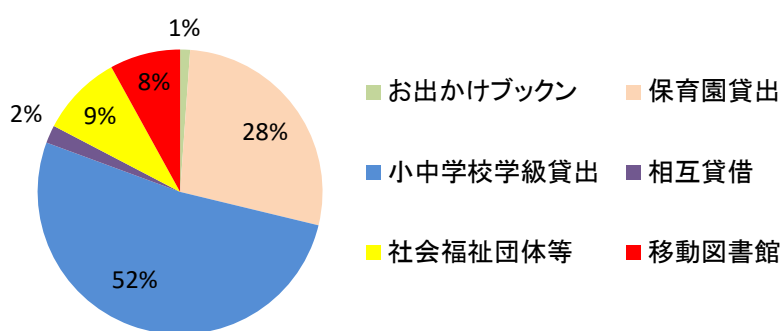
	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計
日進地区	300	46	405	1,064	324	2,139
川添地区	471	71	36	654	751	1,983
三瀬谷地区	3,198	292	2,081	2,414	5,268	13,253
荻原地区	700	225	609	1,441	1,482	4,457
領内・大杉谷地区	56	0	87	118	110	371
他	658	257	460	2,513	3,610	7,498
合計	5,383	891	3,678	8,204	11,545	29,701
児童・一般	5,383	24,318				29,701

●非来館者の図書利用方法別の冊数内訳

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
お出かけブックン	55	85	72	127	136
保育園貸出	3,000	3,000	3,480	3,480	3,319
小中学校学級貸出	5,200	5,200	5,700	5,700	6,227
相互貸借	382	372	374	276	252
どくしょ便			49	97	
社会福祉団体等				440	1,120
移動図書館					962
貸出冊数合計(冊)	8,637	8,657	9,675	10,120	12,016

※お出かけブックンは、図書館所蔵資料を各公民館・福祉施設に個人対象に配送した冊数を指す

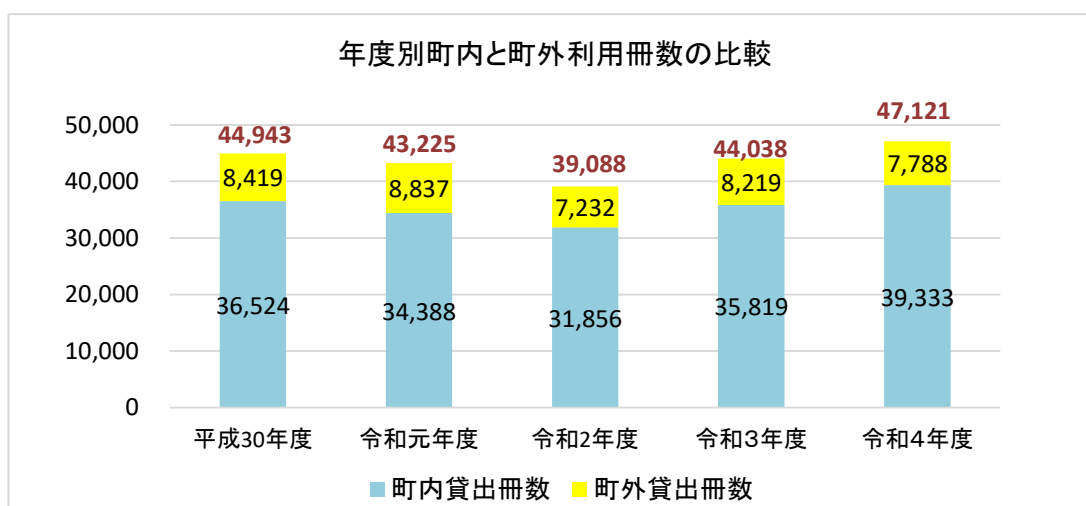
●令和4年度非来館者の貸出利用方法別の割合



●町内利用と町外利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町内貸出冊数	36,524	34,388	31,856	35,819	39,333
町外貸出冊数	8,419	8,837	7,232	8,219	7,788
貸出合計(冊)	44,943	43,225	39,088	44,038	47,121

※町外とは、大紀町在住者、町内在学・在勤者（他市町村在住）を指す
 それぞれ団体登録者も含む
 このデータは、令和3年度までは、保育園セットは貸出処理されないためカウント含めず

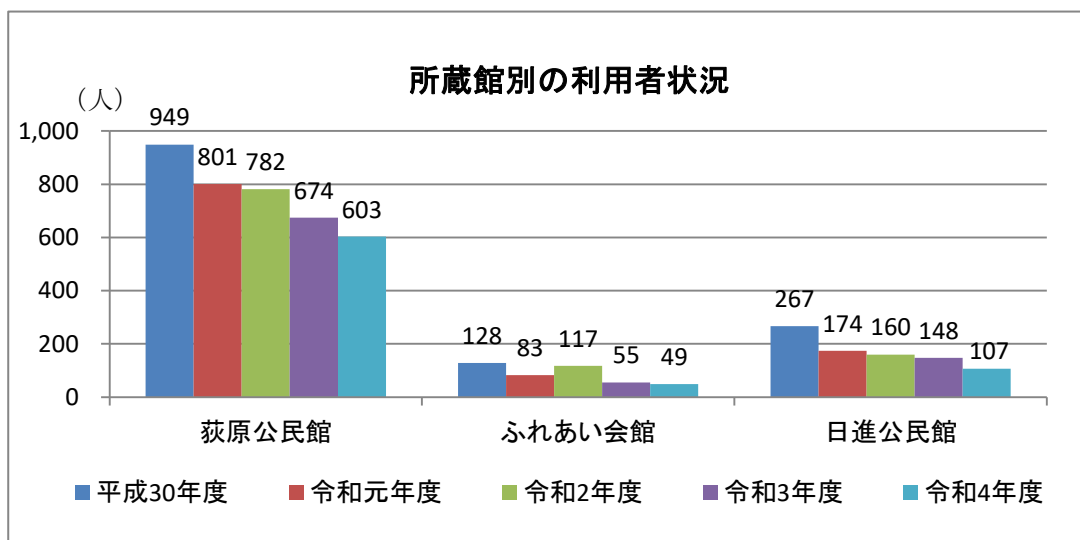


【公民館図書室利用状況】（令和5年3月31日現在）

●公民館図書室貸出利用者数

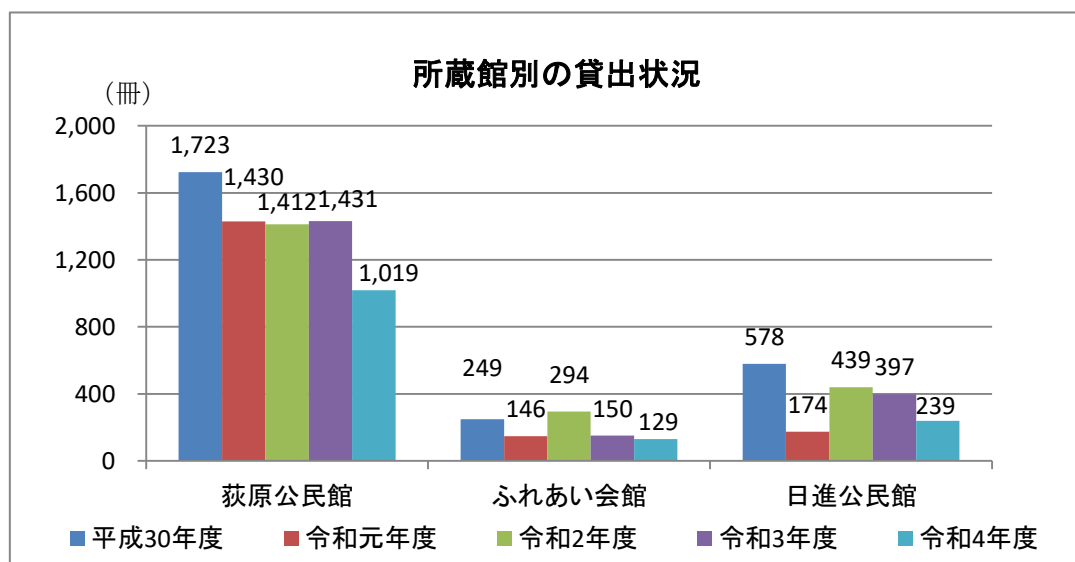
※公民館利用者の数には、お出かけブックンでの利用は含まれない

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
荻原公民館	949	801	782	674	603
ふれあい会館	128	83	117	55	49
日進公民館	267	174	160	148	107
利用者合計(人)	1,344	1,058	1,059	877	759



●公民館図書室貸出冊数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
荻原公民館	1,723	1,430	1,412	1,431	1,019
ふれあい会館	249	146	294	150	129
日進公民館	578	174	439	397	239
貸出合計(冊)	2,550	1,750	2,145	1,978	1,387



4. 経費・サービス指数

【令和4年度 予算】

(円)	
図書費	3,000,000
雑誌・新聞費	388,520
合計(資料費)	3,388,520

【サービス指数】

『日本の図書館 統計と名簿2021』より
平均値を算出

[指標数値]

人口8千～1万人未満
の40町村の平均

町内有効登録率 (在勤・在学・町外をのぞく)	8.35%	$\frac{\text{町内有効登録数(714件)}}{\text{人口(8551人)}} \times 100$	
町民1人当たりの貸出冊数	4.60冊	$\frac{\text{町内貸出冊数(39,333冊)}}{\text{人口(8551人)}}$	4.64冊
個人の実利用者1件当たりの年間貸出冊数	36.44冊	$\frac{\text{個人の貸出冊数(29,701冊)}}{\text{個人の実利用者数(815件)}}$	
町民1人当たりの蔵書冊数	5.25冊	$\frac{\text{蔵書冊数(44,902冊)}}{\text{人口(8551人)}}$	8.99冊
町民1人当たりの年間図書購入冊数	0.14冊	$\frac{\text{年間図書購入冊数(1,190冊)}}{\text{人口(8551人)}}$	0.20冊
町民1人当たりの資料購入費	396.27円	$\frac{\text{資料費(3,388,520円)}}{\text{人口(8551人)}}$	443.92円
司書1人当たりの奉仕人口	1710.2人	$\frac{\text{人口(8551人)}}{\text{司書数(5人)}}$	
蔵書回転率	1.05回	$\frac{\text{貸出冊数(47,121冊)}}{\text{蔵書冊数(44,902冊)}}$	0.52回

【基本数値】

人口8千～1万人未満
(合計36万人)の
40町村の平均

人口	8,551人	令和5年2月28日現在	9,000人
有効登録件数(施設団体含む)	956件	内、町内有効登録件数(714件)	
司書人数	5人		
貸出冊数	47,121冊	内、町内貸出冊数(39,333冊)	
個人の貸出冊数	29,701冊	内、町内貸出冊数(22,203冊)	41,725冊
個人の実利用者数	815人	1年間で貸出利用した人数	
蔵書冊数	44,902冊		80,900冊
図書購入冊数	1,190冊	(雑誌341冊は含まず)	1,845冊
資料費	3,388,520円	図書費+雑誌・新聞	3,995,325円
購入図書平均単価	2,521円	図書費÷購入図書冊数(1,190冊)	2,166円

5. 課題と対策

【令和3年度の課題・対策と令和4年度の実施内容】

令和3年度年報には、現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。
令和4年度はその対策を踏まえて活動をしました。

●令和3年度の課題と対策

《行事》

課題>児童対象行事減少に伴う、児童の図書館利用減少
対策>対象の行事再開、乳幼児と保護者対象のおはなし会開始
実施>「おはなしと工作の会」「ばぶばぶおはなしかい」追加

《資料》

課題>書庫がないため書架に対して蔵書過剰であること
対策>書庫増設の要望を挙げる
現状>現段階では変化なし

《利用状況》

課題>12歳以下の有効登録者数（1年以内の登録者または資料貸出利用者）の減少
対策>家族で来館したくなる行事の企画、学校や保育園の図書館見学を促進、
子どもへの読書手帳配布
実施>「ばぶばぶおはなしかい」の実施、保育園・小学校の図書館見学受入、
読書手帳の無料配布継続（一般・児童問わず）

《非来館者の利用促進》

課題>図書館利用の地域格差、交通弱者に対する対策が少ない
対策>移動図書館の試験運行開始、町内の福祉施設への団体貸出実施
実施>移動図書館の7ヶ月間試験運行、町内の医療・福祉施設への団体貸出実施

●令和4年度の分析

《行事》

開館20周年記念事業を中心に年間を通して、幅広い年代が参加できる行事を行いました。スタンプラリーの賞品であるトートバッグも好評で、たくさんの方に活用していただいています。今年度は、例年よりも準備に時間がかかる行事が多かったのですが、綿密に準備を進めたこともあり、どの行事も好評でした。記念講演は、図書館はもちろん大台町そのものを町内外へのアピールする目的でもありました。講師による情報発信により、町外の方の応募が多かったので予想以上のアピールになりました。しかし、図書館からの発信による、本来のターゲットである大台町民、特に小中学生の関心度が低かったことは残念でした。発信や読書推進活動の不十分さが課題として見えてきました。

《資料》

書庫スペースが確保できていないので、前年度と状況は変わりません。所蔵資料が4万冊を超えており、図書館と公民館図書室のスペースに余裕がありません。廃棄を毎年行うものの、資料的価値が損なわれておらず廃棄対象年数を迎えても必要と判断された資料については可能な限り廃棄をしないため、蔵書は年々増加傾向にあります。一部の絵本資料などについては、保育園セットとして、書架に並べず閉架に一時保管しながら活用できるようにしていますが、そのように保管できる資料やスペースは限られており、図書館に隣接する書庫の必要性が高まっています。

《利用状況》

移動図書館の開始に伴い、移動図書館用の貸出を行っているため、全体の貸出数は伸びていますが、個人貸出を見ると前年度より減少しています。来館者も、行事参加が多かった記念講演は健康ふれあい会館で実施したため、来館者数にはカウントしておらず、前年度よりわずかに減少しました。

考えうる原因としては、新着図書の減少、利用者一人当たりの1回の貸出冊数の減少傾向、12歳以下のさらなる利用減少が挙げられます。

《非来館者への利用促進》

図書館資料の利用地域格差を減らすために移動図書館を実験的に実施しました。開催場所が保育園からアクセスしやすい位置で行ったことで、日進地区も川添地区も予想を上回る利用があり、一定以上の成果があったと考えています。保育園に通っている子どもや保護者に対する図書利用者カードの新規発行の機会ができたこと、周期的な借り換えが容易になったこと、図書館に対する興味関心が生まれたこと、読書習慣が定着するようになったことなど、利用者からの声で確認できました。一方で、一般利用者が満足できるほどの資料の積み込みは出来なかったため、地域住民に対する継続的な利用促進には直接的には繋がりにくかったように思えます。

福祉施設に加えて医療施設への団体貸出は、図書館までは行けなくても町民の動線上に図書館の本があることで、その場での利用につながっています。

【令和5年度に向けての課題】

《行事》

20周年記念行事のような、大きくインパクトのある行事開催は予定していません。それでも図書館への関心を高めるために、それぞれの行事に対する対象者の興味関心をいかに引き出すかが課題となります。

《資料》

利用者の高齢化が進んでいます。より読みやすい資料を積極的に蔵書に加える必要があります。また、小中学校の図書室支援を行っていることから、授業利用の資料依頼もたくさんあります。近年は学習内容の低年齢化が進み、以前の資料では難しすぎることもあり、学習学年に対応した新しい資料の購入が必要となっています。保管期間に関わらず、資料のより丁寧な見直しと選書が必要です。

《利用状況》

団体貸出の需要も冊数も高まっていますが、個人貸出での需要を高める必要があります。大台町民全体を見れば、個人の資料利用者は1割も満たしていません。この問題は、決して令和5年度のみ課題ではありません。今後さらに人口減少や情報形態の多様化の影響を受けることは必然です。図書館が住民の資料要求に応える環境を維持するためにも、図書館の認知を高めていく必要があります。

《非来館者利用の促進》

大台町の地形は細長く、図書館1か所での資料提供では資料利用の地域格差は解消できません。移動図書館を継続し、その存在を定着していく必要があります。また、施設等での利用も施設職員との綿密な連携を高め維持していく必要があります。

【対 策】

《行事》

幅広い年代が図書館行事に参加できる機会があるようにします。

図書館行事開催の認知度を高めるために、関係する他機関でのチラシ配布を強化します。

利用者の質問内容や地域住民の関心に注目し行事内容に活かします。

他の図書館の行事に関心を持ち、魅力ある行事内容の発掘に努めます。

《資料》

的確な資料廃棄を継続しつつ、書庫の増設を要望します。

「大活字本」の収集を強化し、中高年に対して積極的な周知を行います。

児童書の選書は、実際に資料を見て検証し、授業との関連性が高いものから選びます。

《利用状況》

図書館への関心を高めた上で、家族で来館したくなる企画や本紹介をします。

学校や保育園の「図書館見学」を促進し、子どもたちの図書館への関心を深めます。

《非来館者への利用促進》

出張おはなし会を実施し、図書館への関心を高めます。

移動図書館を実施し、遠隔地の利用者の拡大、定着を図ります。

高齢者施設との連携を継続し、来館することなく資料を利用できる環境を維持します。